
■□■ 宅建士メールマガジン 試験直前号① ■□■

受験生様各位

メルマガ登録ありがとうございます。

Kenビジネススクールです。

宅建本試験直前に役立つ情報をお届けさせていただきます。

■□■ 試験直前の宅建学習 おすすめは！ ■□■

■いよいよ、今年度の宅建士本試験まで、1週間というところまで迫って
まいりました。学習準備はいかがでしょう。

これから試験日までは、「得意な科目」「苦手な科目」共々、今まで積み重ねてきました知識を再確認しながら学習のラストスパートを行っていきましょう。今まで使ってきたテキストと過去問題、その内容で、少しでも気になる箇所は、その都度確認作業を行っておきましょう。試験会場で「あそこは、何て書いてあったっけ…」などと、心配になってしま

うこともあります。今のうちに、十分に確認をしておいてください。併せて、この時期は体調管理も重要になってきます。気候の変化で風邪などをひきませんよう、注意しながら過ごして行ってください。

直前期のおすすめの学習法ですが、本番のリハーサルとしまして、50問スタイルの本試験を想定した模擬試験を2時間で解いてみる方法があります。例え全問正解できる知識があっても、制限時間内に問題を処理できなければ、合格はあり得ません。すでに模擬試験を何回か受けたことのある方も、最終仕上げとして本試験レベルの模擬試験の受講をご検討ください。ご自宅で2時間計って行なうものであっても構いません。要は、2時間という試験時間を体になじませることが大切なのです。

模擬試験の学習では、複数回分の模擬試験を1日おきに解いてみて、間の1日はその模擬試験の”解き直し復習”にあてると効果的です。毎日続けて模擬試験を行なっても、疲労がたまってしまいますし、復習の時間が十分には取れません。1日おきのペースで解いていけば、平日は帰宅後の2時間を充てることができますし、学習のペースをうまく組み立てることができます。週末は、まとめて復習の時間に充てましょう。合格まで、もうひと頑張りです。

■Kenビジネススクールのお薦め講座は...

・宅建士ズバリ的中ヤマ当て模試 全1回 会場受験・WEB受験

Ken ビジネススクール代表の田中謙次が今年の宅建試験の完全出題予想を行います。通常の模擬試験と同様に、2時間で50問の問題を解いてもらい、その後に1時間の解説講義となります。学習の総仕上げに、合格への太鼓判を押す模擬試験・講習会です。

⇒https://www.ken-bs.co.jp/zenkoku_moshi.html

■□■ 覚えれば1点取れます。統計情報（地価公示・建築着工戸数編）
■□■

■平成30年地価公示結果の概要

平成29年1月以降の1年間の地価について（国土交通省発表）

・全国平均では、住宅地の平均変動率が昨年横ばいから10年ぶりに上昇に転じた。商業地は3年連続の上昇、工業地は2年連続の上昇となり、それぞれ上昇基調を強めている。全用途平均は3年連続の上昇となった。

・三大都市圏をみると、住宅地、商業地及び工業地のいずれについても、各圏域で上昇を示した。

大阪圏は、住宅地はわずかな上昇だが、商業地の上昇率は三圏で最も高い。

・地方圏をみると、住宅地は下落幅の縮小傾向が継続している。商業地及び工業地は26年ぶりに上昇に転じ、全用途平均でも下落を脱して横ばいに転じた。地方圏のうち、地方四市では、全ての用途で

上昇し、上昇基調を強めている。

■平成 29 年の新設住宅着工戸数（国土交通省発表）

平成 29 年の新設住宅着工は、貸家及び分譲住宅は増加したが、持家が減少したため、全体で減少となった。

1. 総戸数

- ・平成 29 年の新設住宅着工戸数は 964,641 戸。
- ・前年比では 0.3%減となり、3 年ぶりの減少。
- ・新設住宅着工床面積は 77,515 千㎡、前年比 0.9%減、昨年の増加から再びの減少。

2. 利用関係別戸数

①持家

- ・平成 29 年の持家は 284,283 戸（前年比 2.7%減、昨年の増加から再びの減少）

②貸家

- ・平成 29 年の貸家は 419,397 戸（前年比 0.2%増、6 年連続の増加）

③分譲住宅

- ・平成 29 年の分譲住宅は 255,191 戸（前年比 1.9%増、3 年連続の増加）
- ・マンションは 114,830 戸（同 0.2%増、昨年の減少から再びの増加）
- ・一戸建住宅は 138,189 戸（同 3.3%増、2 年連続の増加）

※統計情報は、数字の暗記もありますが、重要なのは、数字が”増加”したのか”減少”したのか、その動きについて覚えておくことが大事です。統計については、試験日の超直前に、もう一度数字の見直しをしておきましょう。

・ 宅建士直前合宿（全科目）2日間 WEB 受講
宅建試験で過去に何度も出題されている頻出分野と最新判例・改正点を中心とする、宅建本試験と同様に 50 問の 4 肢択一式予想問題を利用して行われる短期集中講座です。特に、宅建業法等（50 問中 20 問出題）で確実に 17 点以上取れるように、1 日目の大半は宅建業法に費やされます。

また、合宿の始まりと終わりにテストを実施します。宅建試験で正確な記憶が求められる数字等の穴埋め問題です。同様の問題を最終日の最後に実施し、しっかりと記憶に定着して行きます。

⇒ <https://www.ken-bs.co.jp/kojin-takkenkouza-annai-tyokuzengassyuku.html>

株式会社 Ken ビジネススクール
不動産ビジネス研修事業部 宅建士講座運営 Section
〒160-0023
東京都新宿区西新宿 6-12-7 ストーク新宿 1F
TEL : 03-5326-9294
FAX : 03-5326-9291
★受付窓口対応時間 : 平日 10 : 00 ~ 18 : 00
土日祝日はお休みとなります。

Email : takken_students@ken-bs.co.jp

<http://www.ken-bs.co.jp/>
